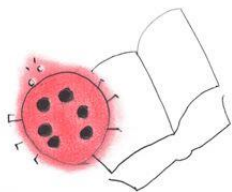
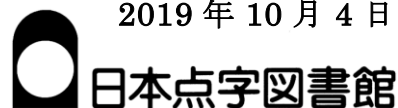


## 報道関係者 各位 プレスリリース



2019年10月4日



〒169-8586 東京都新宿区高田馬場 1-23-4  
理事長 田中 徹二  
電話 03-3209-0241 FAX 03-3204-5641  
E-mail nitten@nittento.or.jp

### 第16回「本間一夫文化賞」の決定について —独立行政法人国立特別支援教育総合研究所名誉所員の大内進氏—

社会福祉法人日本点字図書館は、本間一夫文化賞の選考委員会（委員長：社会福祉法人恩賜財団済生会 炭谷茂 理事長）で、第16回受賞者に、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所名誉所員の大内進（おおうち・すすむ）氏を決定しました。

大内氏は、筑波大学附属盲学校（現：筑波大学附属視覚特別支援学校）で教師を勤めた後、同研究所で視覚障害教育用の触覚図形教材や絵画の立体的翻案の開発などに取り組むなど視覚障害者の触れる文化の育成に尽力。2014年には視覚障害者が触って鑑賞できる浮き彫り絵画などを揃えた美術館と、触覚教具の資料室を併設した「手と目でみる教材ライブラリー」を東京都内に開設しました。また、日本点字図書館が運営する「ふれる博物館\*1」に準備段階から多大なご協力をいただくとともに、コレクションをご提供いただくなど、視覚障害者の「ふれる文化」の育成に大きな貢献をされています。



本間一夫文化賞は、2003年8月に他界しました日本点字図書館創業者、本間一夫を記念して2004年より設けられた賞であり、毎年、視覚障害者の文化・福祉・教育の向上に貢献した個人・団体に贈られます。社会福祉法人読売光と愛の事業団様には第1回から受賞者決定に関する記事の全国紙への掲載と、記念品のご協賛をお願いし、長きに渡り多大なお力添えをいただいております。10月5日の読売新聞紙上の記事掲載をもって発表とさせていただきます。

表彰式と記念講演は11月9日（土）、日本点字図書館で開催する「日本点字図書館オープンオフィス\*2」にて行ないます。

#### （選考委員）

炭谷 茂	公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会会長（選考委員長） 社会福祉法人恩賜財団済生会理事長
大塚信一	元岩波書店代表取締役社長
北沢 巖	社会福祉法人読売光と愛の事業団福祉助成部長
三田誠広	作家・公益社団法人日本文藝家協会副理事長
立花明彦	静岡県立大学短期大学部教授
本間一明	本間一夫長男

(協賛)

社会福祉法人 読売光と愛の事業団

公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団

(後援)

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

社会福祉法人 日本盲人福祉委員会

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会

社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団

公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団

株式会社 毎日新聞社 点字毎日部

---

【 社会福祉法人日本点字図書館について 】

1940年本間一夫により創設。点字図書・音声図書の製作・貸し出し、視覚障害者用具の販売等の事業、自立訓練（機能訓練）事業および指定特定相談支援事業を行なう日本最大の視覚障害者情報提供施設。視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の管理も行なっている。

ホームページ : <https://www.nittento.or.jp/>

\*1 【 ふれる博物館について 】

視覚障害者が、触察に適したアレンジを施した絵画や建築、また近現代の盲人生活用具などを触って楽しめるように、日本点字図書館が2018年開館した博物館。文字としての点字や音声だけでは伝えきれない触覚情報を提供することで、視覚障害者情報提供施設としての事業の拡充を図り、もって視覚障害福祉の向上に寄与することを目的としている。

\*2 【 日本点字図書館オープンオフィス 】

79年にわたり視覚障害者の読書と文化活動を支える日本点字図書館が、一般の方々に視覚障害者への理解を深めていただくために、館内を開放して点字図書館の「今」を体験いただく無料イベント。

2019年11月9日(土) 10日(日) 10時から16時

関連ページ : [https://www.nittento.or.jp/news/open\\_office2019.html](https://www.nittento.or.jp/news/open_office2019.html)